

富士見の景観



オオモミジの数え頃

境小学校の校舎の西側の庭には、モミジの木がたくさんある。その中でも、多目的教室の前の「オオモミジ」が一番大きい。根元近くで大きな幹に二つに分かれていて、目通りは、東側の幹は167cm、西側は130cm。高さは7mほど。木肌は滑らかで、縦に波を打ちながら左右に曲がっている。子どもたちの木登りにはうってつけの格好にも見える。

旧校舎が全焼した昭和13年の翌年に、木造校舎が再建されて、玄関の前庭に多種の木々が植えられたことから考えると、オオモミジの樹齢は80年くらいであろう。その後、校舎は現在のものに更に建替えられたが、その場所にあつて多くの生徒を見守り、変わりゆく校舎を眺めているようだった。

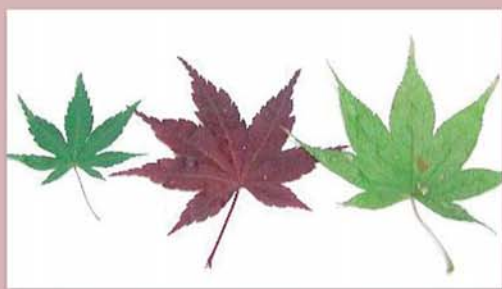
学校の敷地の中でも西側の庭は日あたりが良く、針葉樹のいい香りがする。足元は芝と落ち葉でふかふかして心地よい。美しい落ち葉を拾って「いろはにはへと・・」と、葉先を数えたことがあるだろう。そばの樹木の間には、卒業生のタイムカプセルがいくつか埋められていた。この春、高校卒業予定の子供たちのももある。彼らはきっと、自分たちの遊んだ庭に「旅立ち」のあいさつに来るのであろう。

オオモミジは、何年もの間ここで待ち、いつしか再会に訪れる者を迎える、暖かい木となっていた。



「境学校のあゆみ」より（撮影：昭和57年10月）

オオモミジの赤い紅葉が見えてるよ！



左：イロハモミジ 中：ヤマモミジ 右：オオモミジ

オオモミジ【*Acer palmatum* var. *amoenum*】カエデ科カエデ属イロハモミジ変種（落葉高木）。山地の落葉広葉樹林帯に生育しています。庭園木としてもよく植栽され、葉は端正で美しく通常7つ（5～9）に掌状に分かれています。展葉直後に紅色の花を開きます。雄花と両生花が混在していて果実は1つの花に2つでき、翼があるので風に乗って飛ばされます。園芸品種として、イロハモミジ・オオモミジ・ヤマモミジと呼ばれているようですが、3種を見分けるのは難しいかもしれません。モミジの木は、「空（もく）」とよばれる木目のあるところを使って、美しく優しい白色系を生かした木箱などが作られます。墓石を入れる「墓筒（ごけ）」にも使われることがあります。

問 富士見町役場 建設課 都市計画管理係 ☎ 0266-9216

- ◆町の人口と世帯数 平成23年12月1日現在（前月比）
住民基本台帳人口 男性/7,547人(+4) 女性/7,754人(±0) 合計/15,301人(+4) 世帯/5,728世帯(+2)
- ◆発行日 平成24年1月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10,777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.nagano.jp> Eメール fujimi@town.fujimi.nagano.jp ◆印刷 (有)富士見印刷

休日・夜間の緊急医電話番号案内 長野県救急医療情報センター
TEL 0120-890-422

2021.1 ◆広報ふじみ

22

●この広報は再生紙を使用しています。